

2012年3月期第2四半期 決算説明会

2011年11月9日

わたしたちは健康と
豊かな食生活を提供します

証券コード4526



理研ビタミン株式会社

www.rikenvitamin.jp

Riken Vitamin

本日の内容

1. 開会

2. 2012/3月期 第2四半期連結決算の概要

取締役 経営企画部長 堀井 滋

3. 2012/3月期 通期業績予想 及び 今後の見通し

代表取締役社長 堺 美保

4. 質疑応答

5. 閉会

2012/3月期 第2四半期連結決算の概要

取締役 経営企画部長 堀井 滋

2012/3月期 第2四半期 決算ハイライト（連結）

単位: 億円、%

	2011/3月期 第2Q		2012/3月期 第2Q		前年同期比較	
	実績	対売上比	実績	対売上比	増減額	%
売上高	392	—	365	—	△26	△6.9
粗利益	125	31.9	101	27.7	△24	△19.3
販管費	94	24.0	87	23.8	△7	△7.6
営業利益	30	7.9	13	3.8	△16	△54.8
経常利益	31	7.9	14	4.1	△16	△52.3
純利益	11	3.0	7	2.2	△3	△33.4

<1Q、2Q 売上増減>

第1Q (4~6月)	第2Q (7~9月)
△16	△10

セグメント、部門別売上高(連結)

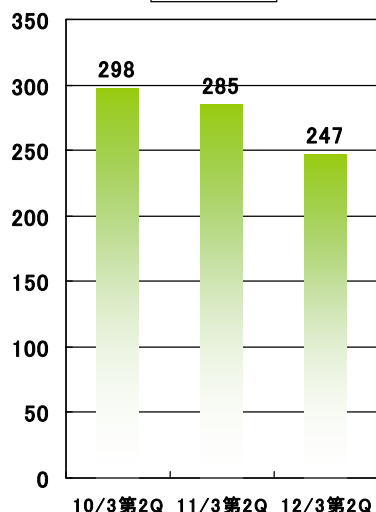
単位: 億円、%

セグメント	部 門	2011/3月期 第2Q	構成比	2012/3月期 第2Q	構成比	増減額	%
国内食品事業		285	72.1	247	67.0	△38	86.6
	家庭用食品	81	20.5	64	17.6	△16	79.9
	業務用食品	108	27.5	89	24.2	△19	82.1
	加工食品用原料他	95	24.1	93	25.2	△2	97.6
国内化成品その他事業		30	7.7	28	7.7	△1	94.5
国内事業		315	79.8	275	74.7	△39	87.4
海外事業		79	20.2	93	25.3	13	116.7
調整額(セグメント間消去)		△3	—	△3	—	0	—
合 計		392		365		△26	93.1

(※)構成比は調整前の数値

セグメント別売上高 主な増減明細 「国内食品事業」

国内食品事業



家庭用食品

[前期差 $\Delta 16.3$ 億円 / 前期比 79.9%]

- ◆ 海藻 $\Delta 15.2$ 億円 ◇ 震災による休売や生産再開の遅れによる影響
- ◆ 素材力 $\Delta 0.0$ 億円 ◇ ほぼ前年並みの売上高
- ◆ ドレッシング $\Delta 3.6$ 億円 ◇ 震災による供給量の低下

業務用食品

[前期差 $\Delta 19.4$ 億円 / 前期比 82.1%]

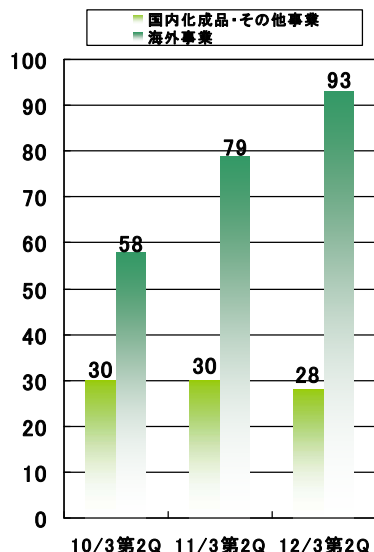
- ◆ 海藻 $\Delta 14.6$ 億円 ◇ 震災による休売や生産再開の遅れによる影響
- ◆ ドレッシング $\Delta 1.4$ 億円 ◇ PB品を中心に落ち込む
- ◆ 調味料・エキス $\Delta 2.3$ 億円 ◇ 外食産業向け調味料の減少

加工食品用原料他

[前期差 $\Delta 2.2$ 億円 / 前期比 97.6%]

- ◆ 食品改良剤 $+0.8$ 億円 ◇ 震災特需の反動による第2Qの荷動きが鈍化したことにより、ほぼ前年並み
- ◆ 餡 $\Delta 1.3$ 億円 天津の製造子会社の事業再編による減少 (餡から改良剤へ)

セグメント別売上高 主な増減明細 「国内化成品事業」、「海外事業」



国内化成品 その他事業

[前期差 $\Delta 1.6$ 億円 / 前期比 94.5%]

- ◆ 化成品 $\Delta 0.8$ 億円 被災による取引先の生産調整の影響で減少
- ◆ その他 $\Delta 0.8$ 億円 震災の影響による、飼料用油脂の減少

海外事業

[前期差 $+13.3$ 億円 ($\Delta 4.1$ 億円) / 前期比 116.6%]

- ◆ 海外販社5社 $+5.8$ 億円 ($\Delta 1.3$ 億円) 改良剤製品(食品・化成品)がアジアを中心に回復
- ◆ 青島福生食品 $+7.5$ 億円 ($\Delta 2.7$ 億円) 欧州向けの販売が大幅に伸びたことによる増加

()内は為替影響額

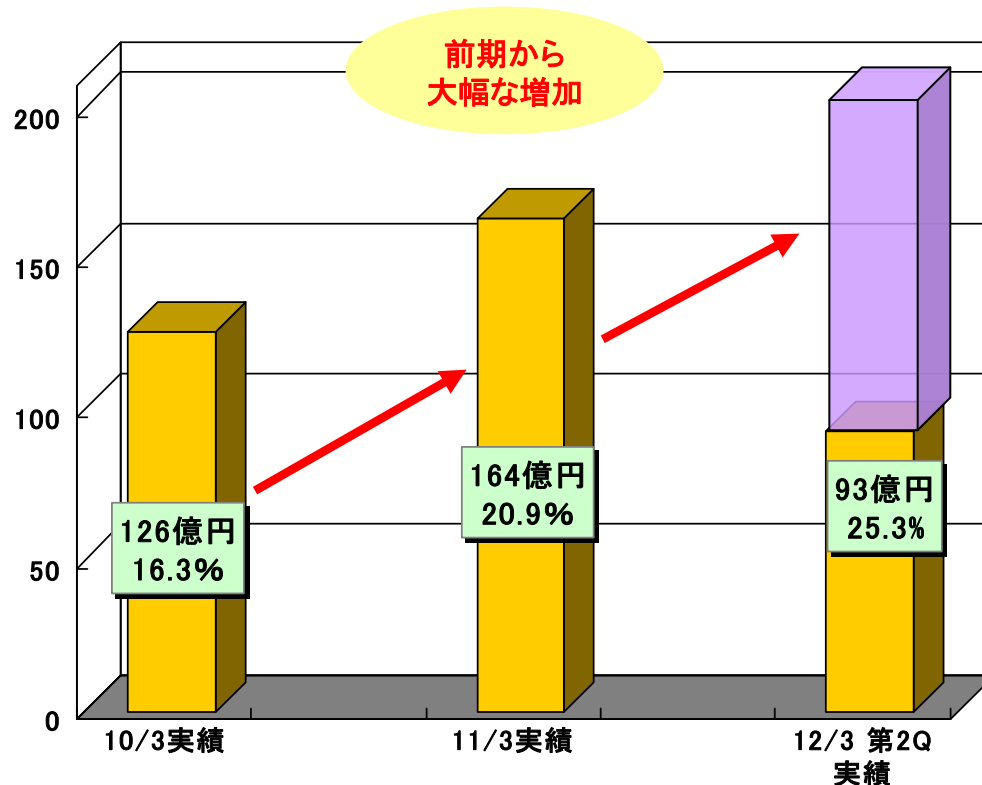
海外事業 売上高の状況

単位: 億円、%

	2010 / 3 通期実績	2011 / 3 通期実績	2012 / 3 第2Q実績
海外事業売上高	126	164	93
連結売上高に 占める割合	16.3	20.9	25.3



2012 / 3 通期予想
199
25.7



営業利益の増減要因分析

11 / 3期第2四半期
営業利益30.9億円

売上の減少に伴う粗利益の減少

△14.0億

震災の影響

外注経費の
上昇

△1.4億

協力会社での製造経費

労務費・
工場経費の
減少

+5.1億

工場経費を中心に削減
(内. 減価償却費 △1.2億円)

原料単価上昇等

△13.9億

販管費の
減少

+7.2億

販管費の減少
(販促費 △2.8億円、
運送保管料 △2.8億円)

12 / 3期第2四半期
営業利益13.9億円

貸借対照表の主な増減科目(連結)

単位:億円

資産の部			
科 目	2011/3月期 期末	2012/3月期 第2Q 期末	増減額
流動資産	500	515	+15.4
現金及び預金	173	162	△10.5
受取手形及び売掛金	175	174	△0.9
たな卸資産	125	144	+19.0
固定資産	323	335	+11.4
有形固定資産	210	217	+6.3
無形固定資産	7	7	△0.2
投資その他の資産	105	111	+5.2
合 計	824	851	+26.8

・商品及び製品 +11.9
・仕掛品 △ 0.1
・原材料及び貯蔵品 + 7.2

・投資有価証券 +6.7

貸借対照表の主な増減科目(連結)

単位: 億円

負債・純資産の部			
科 目	2011/3月期 期末	2012/3月期 第2Q期末	増減額
流動負債	229	253	+24.0
支払手形及び買掛金	81	75	△6.3
短期借入金	78	102	+23.7
固定負債	43	44	+0.3
負債合計	273	297	+24.3
株主資本	541	545	+3.7
その他包括利益	6	5	△0.9
少数株主持分	3	2	△0.3
純資産合計	551	553	+2.5
合 計	824	851	+26.8

【流動負債】

- ・短期借入金 +23.7
- ・未払法人税等 △7.0
- ・災害損失引当金 +2.4

- ・利益剰余金 +3.7

- ・その他有価証券評価差額金 +2.7
- ・為替換算調整勘定 △3.2

キャッシュフローの状況(連結)

単位:億円

	2011/3月期 第2Q	2012/3月期 第2Q
現金及び現金同等物の期首 残高	133	168
営業活動による キャッシュ・フロー	23	△9
投資活動による キャッシュ・フロー	△15	△15
財務活動による キャッシュ・フロー	△1	17.5
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△1	△0.5
現金及び現金同等物の期末 残高	139	160

【営業活動】

・税引前利益	13.1
・減価償却費	14.0
・棚卸資産の増加	△20.0
・法人税等支払	△11.5

【投資活動】

・有形固定資産の取得	△14.8
------------	-------

【財務活動】

・短期借入金の増加	24.8
-----------	------

東日本大震災の業績に対する影響および復興投資額

<特別損失額>

単位: 億円

2011/3月期 期末		2012/3月期 2Q	
固定資産被害	10.0	固定資産被害	4.5
たな卸資産に 対する被害	7.3	たな卸資産に 対する被害	0.8
		操業休止期間中の 固定費	2.5
		その他	0.7
		合計	8.5
その他	0.2	受取保険金	△5.6
合計	17.5	保険金控除後損失額	2.9

<設備投資額>

単位: 億円

	2012/3月期 2Q	2012/3月期 下期以降	合計
理研食品	9.3	11.0	20.3
理研ビタミン		5.0	5.0
合計	9.3	16.0	25.3

2012/3月期 通期業績予想 及び 今後の見通し

代表取締役社長 堺 美保

2012 / 3月期 通期業績予想(連結)

単位: 億円、%

	2011 / 3月期実績		2012 / 3月期予想		前年同期比較	
	実績	対売上比	予想	対売上比	増減額	前期比
売上高	779	—	770	—	△9	98.8
営業利益	55	7.2	32	4.2	△23	57.2
経常利益	57	7.3	32	4.2	△25	56.0
特別収支	△27		△1		26	
純利益	11	1.4	20	2.6	8	178.1

(内 訳)

◇特別利益 8.5億円

◆特別損失 36.3億円

自主回収関連費用12.1 / 災害関連損失17.5

震災からの復興を目指し、鋭意取り組みを進めるも、

外的要因もあり、予断を許さない見通し

2012/3月期 通期セグメント別売上予想(連結)1

単位: 億円、%

セグメント	部 門	2011/3月期 実績	構成比	2012/3月期 予想	構成比	増減額	前期比
国内食品事業		560	71.3	517	66.5	△43	92.3
	家庭用食品	148	18.9	133	17.1	△15	89.9
	業務用食品	217	27.6	191	24.6	△26	88.0
	加工食品用原料等	194	24.8	193	24.8	△1	99.5
国内化成品その他事業		61	7.8	61	7.8	0	100.0
国内事業		621	79.1	578	74.3	△43	93.1
海外事業		164	20.9	199	25.7	35	121.3
セグメント売上高		785	100.0	777	100.0	△8	99.0
調整額(セグメント間消去)		△6		△7			
連結売上高		779		770			

(※) 構成比は調整額を除いた数値

海外事業が下期も引き続き業績を牽引

2012/3月期 通期セグメント別売上予想(連結)2

単位: 億円、%

2012/3期 予想

国内食品	
家庭用食品	
業務用食品	
加工食品 原料等	
国内化成品その他	
国内事業	
海外事業	
セグメント売上高	
調整額	
連結売上高	

上期	下期	通期
247	269	517
64	68	133
89	101	191
93	99	193
28	31	61
275	301	578
93	106	199
369	407	777
△3	△3	△7
365	404	770

上期前年比較

額	比%
△38	86.6
△16	79.9
△19	82.1
△2	97.6
△1	94.5
△39	87.4
13	116.7
△26	93.3
0	
△26	93.1

下期前年比較

額	比%
△5	98.1
1	101.3
△6	93.7
0	100.8
0	102.5
△4	98.6
22	126.4
17	104.6
0	
17	104.6

2012/3月期 下期の取り組みについて(連結) 1

単位: 億円、%

	2011/3 実績			2012/3 上期実績	2012/3 前年比較			2012/3 通期予想
	上期	下期	通期		下期予想	額	比%	
売上高	392	386	779	365	404	17	104.6	770
営業利益	30	24	55	13	18	△7	72.1	32
経常利益	31	25	57	14	17	△9	66.0	32
特別収支	△6	△20	△27	△1	△0	20		△1
純利益	11	△0	11	7	12	12		20

自主回収関連費用／災害関連損失 あり

2012/3月期 下期の取り組みについて(連結)2

目標達成のための重点施策

震災からの復旧・復興

◇販売休止 → 販売再開

- (家庭用商品)店頭率アップに向けた販促活動
- 再採用に向け復旧商品の認知促進

◇新商品の市場導入と実績化

- 営業・開発部門の連携による顧客フォロー

◇安全性の確保・確認 と 適切な情報発信

海外事業における一層の業績牽引

◇上海アプリケーションセンター設立 と シンガポールアプリケーションセンターの連携強化

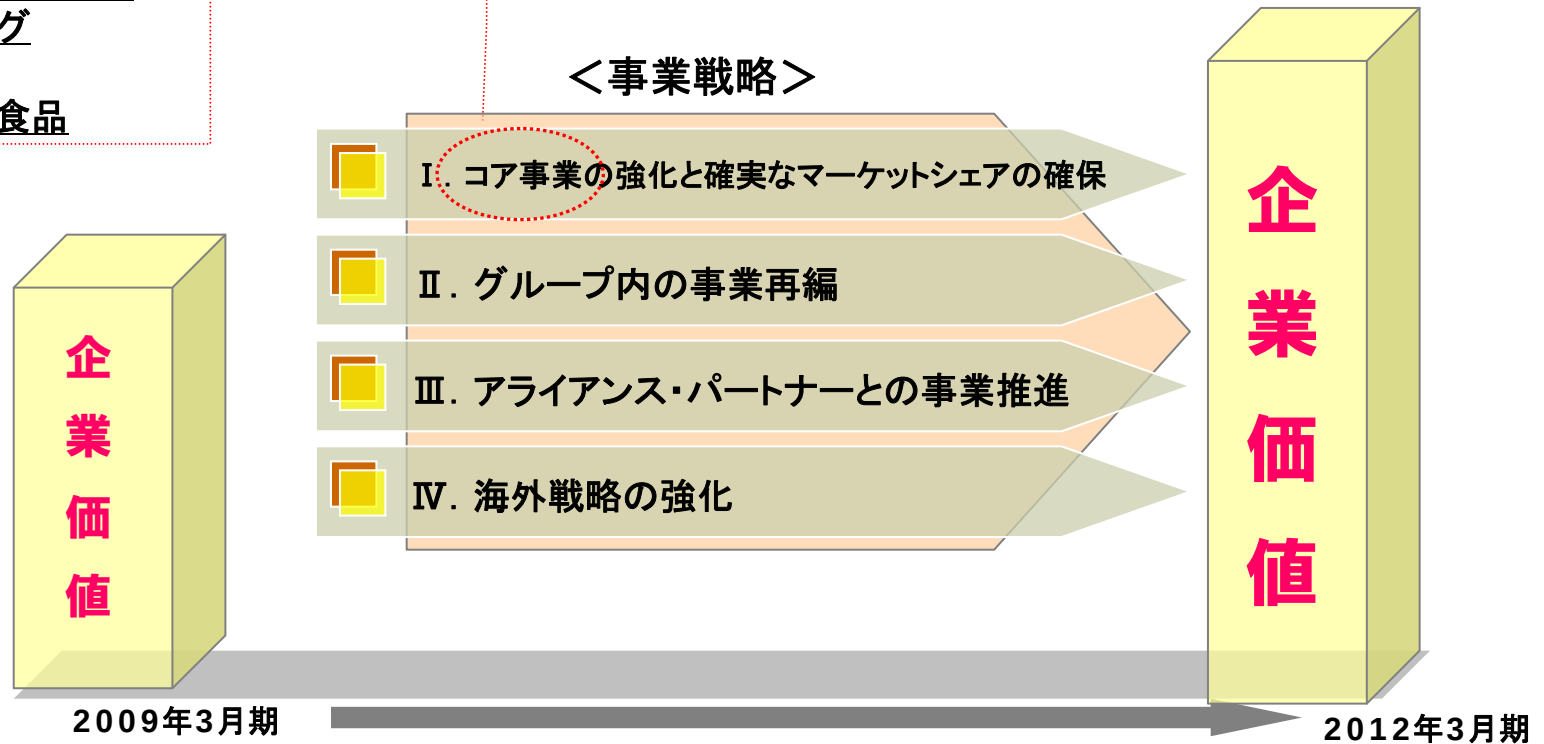
◇天津化成品工場の建設・設備増強 および 化成品アプリケーションセンター開設



当社グループの事業戦略

中期経営計画で、目指したもの ⇒ 4つの事業戦略の着実な実行

- ◇改良剤
- ◇天然エキス調味料
- ◇ドレッシング
- ◇海藻
- ◇健康機能食品



東日本大震災の影響と復興に向けて1

◇生産拠点が被災

ー東北地方(宮城・岩手)に拠点のある理研食品(株)の3工場が被災ー

○一部商品(ドレッシング・わかめ)の販売休止・供給量の低下を招く

グループを挙げて『**復旧・復興**』を目指す！

- 代替生産の実施
- 基幹商品生産ラインの復旧

6月 / 『わかめスープ(10袋入り)』など **販売再開へ！**

6月

7月

8月

9月

10月

11月



販売再開された
主な商品

東日本大震災の影響と復興に向けて2

◇業績への影響

- 固定資産の滅失・損失
- 災害資産の原状回復
- 棚卸資産の滅失・廃棄
- 操業休止期間中の固定費
- 復旧支援費用 他

第2四半期累計

2.9億円

特別損失を計上

(保険金受取分 含む)



◇復興に向けて

『**復旧・復興プラン**』

に則り、鋭意取り組み中！

◇基幹商品生産ライン復旧・再構築
(わかめ・ドレッシング)

◇わかめ養殖従事者への支援

◇わかめ原藻の調達・確保

わかめ商品の
安定供給で
『**海藻事業**』**復興へ！**

生産ライン安定稼動で
『**ドレッシング事業**』
復興へ！

中期経営計画の取り組み成果

◇ グループ内の事業再編

- (1) **成長分野**での事業拡大
- (2) **収益改善**を要する分野への適切な対応



成長カテゴリーを見極めたパワーの投入

① **家庭用 生わかめ・生食めかぶ事業 / 整理**

② **餡事業** → **天津理研維他食品 : 改良剤事業の工場として再構築**

③ **電子精密部品事業** → **健正堂 : 化成品事業へ転換**

◇ アライアンス・パートナーとの事業推進

08/7月 提携推進委員会発足

09/7月 「からだのチカラ」発売

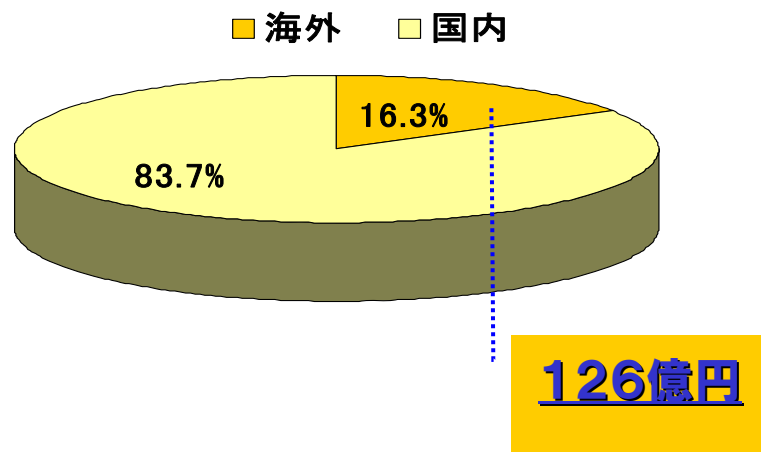
08/6月 キッコーマン(株)と
資本・業務提携

09/8月 物流拠点運営を「総武物流」
(キッコーマン子会社)に切替え

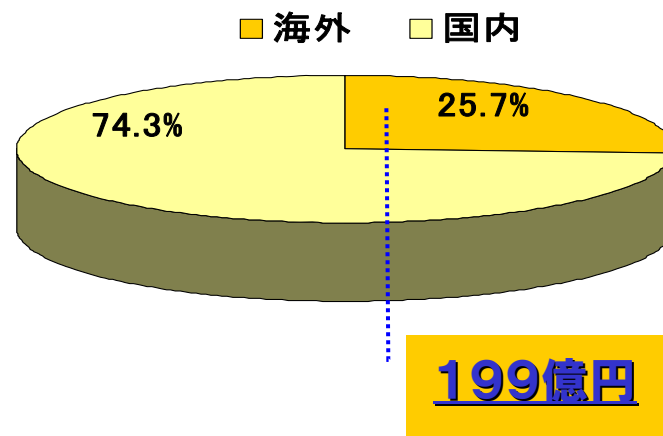
09/10月 キッコーマン販売ルートを活用した海外展開開始



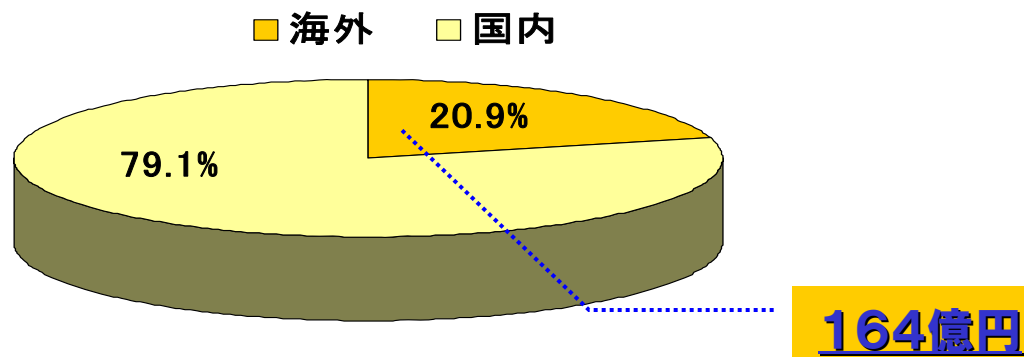
’10/3期 海外事業セグメント売上高比率(実績)



’12/3期 海外事業セグメント売上高比率(予想)



’11/3期 海外事業セグメント売上高比率(実績)



(※)構成比は、セグメント間消去調整額を除いた数値

改良剤分野での一層の事業推進
(食品・化成品)

アジア市場への経営資源の投入

インド
(2010/4 駐在員
事務所開設)

◇ **天津** : 改良剤事業の拡大へ
(工場設備増強 ・ アプリケーションセンター開設へ)

**上海アプリケーションセンター
開設へ**

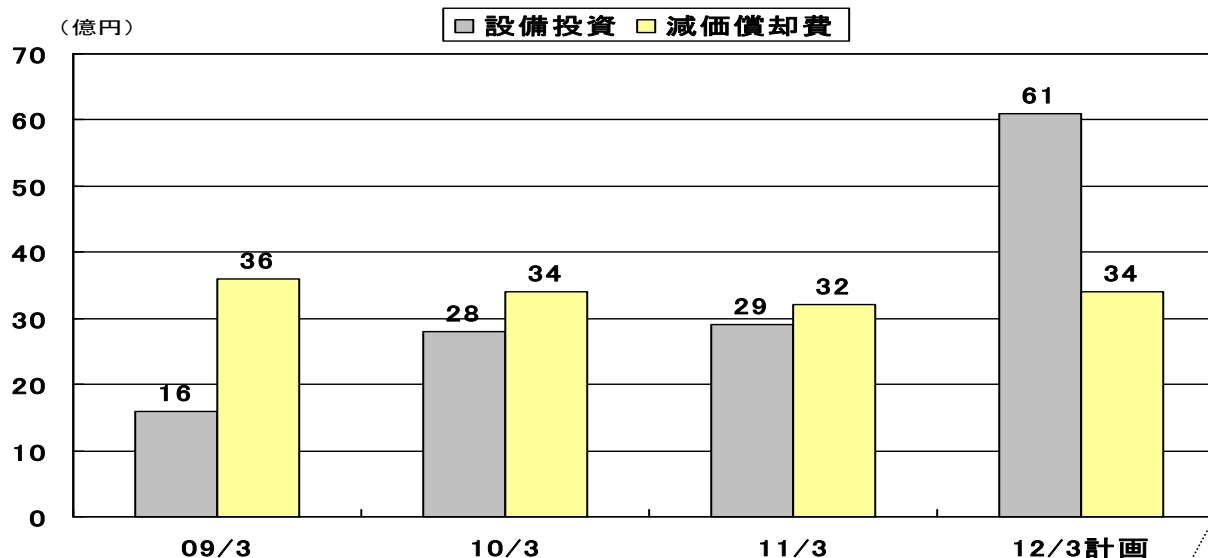
**マレーシア工場
生産能力UP**



シンガポール・上海・台湾 各販社で
アジア・オセアニア市場をくまなくカバー

設備投資および減価償却費

決算期別



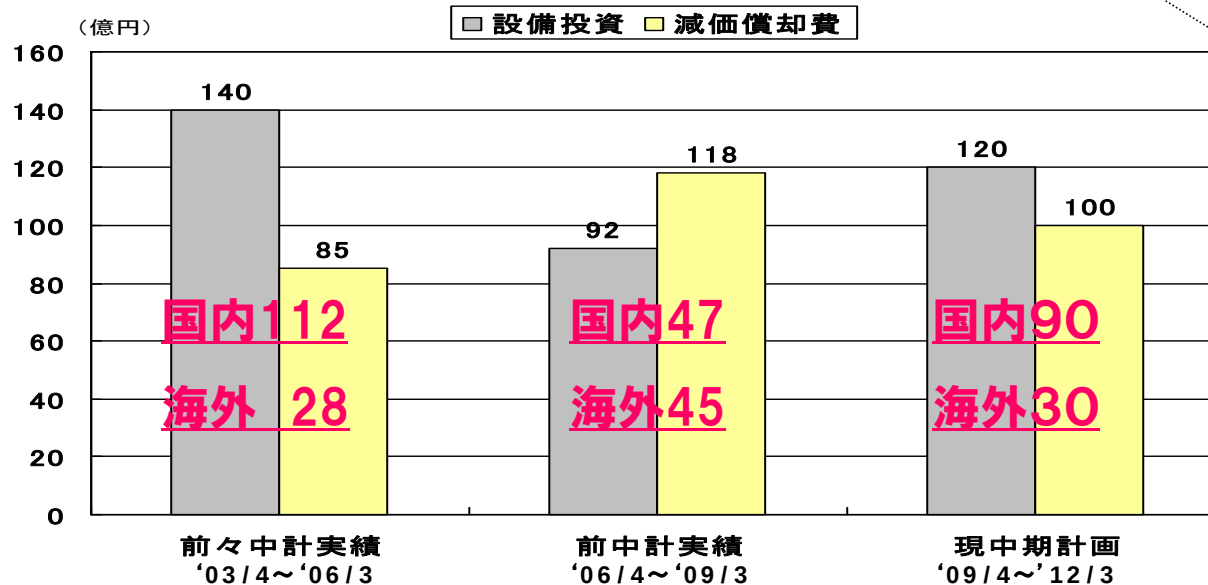
震災復興関連

<投資額>
25億円

理研ビタミン 5

理研食品 20

中計期間別



天津:
化成品工場

<投資額>
10億円

(2012/1
稼働予定)

次期中期経営計画へ向けて

【事業環境認識】

食品業界

- ◇人口：海外⇒増加 ・ 国内⇒減少
- ◇ライフスタイルの変化 ⇒ 食シーンの変化
↓
- ◇消費者の購買スタイルの変化（例：ネット通販の普及）
- ◇食の安全性に対する意識の一層の高まり
- ◇デフレ ⇒ 対応（コスト削減）
⇒ 対抗（新商品開発 → 新市場・新需要創出）
- ◇原発（放射能・電力）問題
- ◇原材料価格の変動・高騰（新興国の需要増 ・ 異常気象）
- ◇海外メーカーとの競争

強いリーダー
シップで、

震災からの完全復興を果たす

◇生産プロセス

◇販売シェア

◇海外展開 etc.

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問い合わせ先

経営企画部
毛塚、相原まで
TEL 03-5275-5835